■日　程　別紙参照ください
■時　間　土曜日：13:00～18:00
　　日曜日：10:00～16:00
■定　員　18名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

■お問合せ　ケーオーデンタル株式会社
〒163-0553 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル19階
Tel. 03-3344-1188（土日祝日はお休みとさせていただきます）
Fax.03-3344-0882

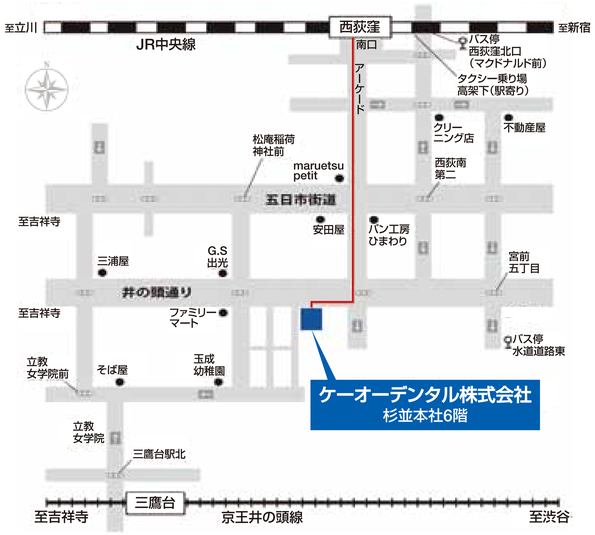
会場アクセス

ケーオーデンタル杉並本社6階　〒167-8551 東京都杉並区松庵1-18-13

●JR線 西荻窪駅より
（土・日・祝日に限り中央線快速は西荻窪に停車致しません。総武線または東西線をご利用ください）
［バス］荻40系　西荻窪経由荻窪行　水道道路東 下車―徒歩5分
　　西20系　立教女学院行　　水道道路東 下車―徒歩5分
［徒歩］15分

●京王井の頭線　三鷹台駅より［徒歩］15分

※吉祥寺駅（公園口）・西荻窪駅（南口）からタクシーでおよそ1メーター



■注意事項
申込金は受講費に充当されません。
欠席による返金はございません。
お振込み後、キャンセルによる返金は致しかねますので予めご了承ください。
振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。
各金融機関の振込明細表をもって、領収証にかえさせていただきます。
※お申込みの情報は個人情報保護法に基づき、本セミナーの事務処理のみに使用し、これ以外に使用する場合は、事前に御参加者の許諾を得るものと致します。

会場の講義室

会場の実習室

スタートアップ・ハンズオンコース

歯科臨床のファーストステップを学ぶ

昨今、インターネットの普及とともに歯科業界も多くの情報を得られるようになりました。それと同時に歯科医師向けのセミナーも色々なジャンルのものが数多く行われるようになり、これから歯科医師としてスタートする若い先生方は「何から学び」「何から実践」すれば良いのか迷ってしまうのも現実です。本コースはそんな卒後間もない先生方が、修復治療を手掛けるに当たり、早い段階で学んでおいた方が良いと思われる基本的な考え方をディスカッションし、また「実践するテクニック」を実習で習得して頂く事を目的としております。歯科医療人として臨床をレベルアップさせるためにはまず、「崩壊に至る原因」やそれに対する基本的な考え方を身に着け、さらに治療ゴールを具現化させるための基本的なテクニックを習得することが大切です。歯科器材や歯科材料等が日進月歩で改良されたとしてもこれらのことを先ず習得しておけば、今後の自身の臨床に大いに役立つものになることは自らの経験を通し確信しております。本コースで歯科臨床の第一歩を習得していただけたら幸いです。

コースディレクター　土屋賢司

コースディレクター

土屋賢司 先生

1984年　日本大学歯学部卒業
1989年　千代田区二番町
　　土屋歯科クリニック開業
2003年　千代田区平河町
　　土屋歯科クリニック＆ワークス開業
2017年　日本大学大学院歯学研究科 博士号取得（歯学博士）
2018年　日本大学歯学部臨床教授就任

インストラクター

土屋 覚 先生
1985年
DENTOCRAFT studioを創立

山﨑 治 先生
1999年
日本大学松戸歯学部卒業
1999年
原宿デンタルオフィス勤務

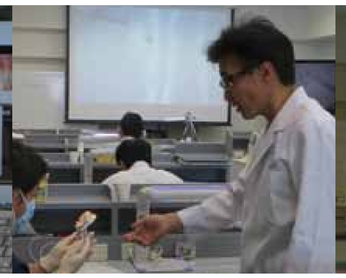
構 義徳 先生
1999年
愛知学院大学歯学部卒業
2013年
六本木カマエデンタルオフィス開業

内山徹哉 先生
2004年
東京歯科大学卒業
2010年
内山歯科クリニック開業

スタートアップ・ハンズオンコース
～歯科臨床のファーストステップ～

8ヵ月：16回コース
土曜日　13:00 ～ 18:00
日曜日　10:00 ～ 16:00

※福岡開催のコースをよりベーシックに構成、
臨床経験5年程度の歯科医師の方を対象とした
初歩的なコース内容となっております。



1 歯科治療に必要な基礎資料採得

何をするにしても基礎資料というものは必要です。もちろんその資料が多ければ多いほど、多角的に物事を分析できますが、皆それぞれ環境が整っているとは限らないので、まず歯科治療を行う上での、最小限必要な「資料収集」「口腔内診査」や、患者さんに不安や不快感をなるべく与えない「問診の仕方」「器具の扱い方」や「局所麻酔の仕方」などの習得を目指します。

2 的確な応急処置と基本的咬合の理解

「痛い」「腫れた」「取れた」など、緊急で来院される患者さんに対しても的確に対応していかなければいけません。この回では、様々なシチュエーションに対応できる緊急処置、限られた資料（パノラマレントゲン、デンタル１枚）から病因を推測するトレーニング、補綴修復の基本となる咬合論を学びます。

3 現代における基本的歯冠修復治療

カリエス処置は、ほぼ毎日行う治療である。この回では、コンポジットレジン修復、インレー修復を学ぶと共に、不適合補綴物を「除去」し、直接、斬間修復物を「制作」「装着」までの流れを、凝縮されたコツやエッセンスをお伝えすることで実際の臨床の臨場感を体感しながら習得することを目指します。

4 補綴前処置の重要性と手技の習得

“永続性のある結果”を得るためには、補綴修復物を装着させる“環境”が非常に重要です。この回では、局所的に環境改善ができる矯正的挺出（エクストリュージョン）と歯冠長延長術（クラウンレングスニングプロシージャー）の２つの手技を学び、その後の支台築造までを習得することを目指します。

5 解剖学的支台歯形成の実践

支台歯形成には“ルール”があります。ただ闇雲に歯を削ってはいけません。ルールを厳守することで、歯周組織と調和した補綴物へと繋がっていきます。この回では、実際に遭遇する状況を見越して、様々な部位を使い「実習」して行くので、明日からの臨床に直結します。

6 最終補綴を模倣したプロビジョナルレストレーションの作製

生体と調和したプロビジョナルレストレーションを製作することができれば、補綴修復治療は、ほぼ成功すると言っても過言ではない。この回では、「クラウン」「ブリッジ」のプロビジョナルレストレーション製作のハンドリング習得を目指します。

7 プロビジョナルレストレーションから最終補綴への移行

最終補綴物の製作にあたり、様々なマテリアルの中から、適材適所に最適なものを選択しなければいけません。また、テクニシャンとの情報伝達もうまく行わなくてはいけません。
今回は、そのために何をしなければいけないのかを「理解」し「実戦」できるようにします。

8 コースを振り返って全員のケースプレゼンテーション

このコースを受講しながら蓄積された「質問」「相談」「簡単な臨床報告」等、どのような形でも良いので、８ヶ月間で学んだことを受講生全員がアウトプットすることで、より確実な知識と技術の向上につながる事を実感していただきます。